



1月14日（火）

## 忠実な者への神の報い

聖書朗読 ダニエル書 1：3～15

死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。 黙示録 2：10

同調圧力というものを経験することがあるでしょう。恐らく皆さんも、若い時には何か罪深いことやあまり賢明でないことをするようそそのかされた記憶があるでしょう。私もそうした同調圧力に屈したことを覚えています。けれどもダニエルは違いました。

ダニエルが王の食卓から食べるよう命じられたときに感じたプレッシャーはどれほどであったか想像できますか。その食べ物は偶像に捧げられたものであったことをダニエルは知っていたのです。ダニエルは命の危険を冒しても、神様の禁じられたものは食さないことを決意し、王宮の役人に野菜を食べる許可を求めました。すると神様は、その役人に、ダニエルに好意的に接するようにしてくださいました。10日間、そうした試みをしたところ、ダニエルと彼の3人の仲間は、王の食卓から食べたどの若者よりも健やかに見えしました。

さらに神様は、理解力、知恵、そして技能をダニエルにお与えになりました。やがて王は、ダニエルと神様に忠実な仲間が、王国のいかなる呪法師よりもその知恵が優れていることが分かりました。私たちも神様に信頼し従うとき、恵みを受けます。今度周囲からの圧力を感じるものがあつたら、ダニエルのことを思い出して勇気を出しましょう。

讃美歌 84 かみにたより 主にしたがえ

祈り お父様。この世の誘惑に抗<sup>あらが</sup>う強さとあなた様のみ言葉に聞く知恵をお与えください。あなた様は私たちに忠実でいてくださいます。私たちも心からあなた様に忠実でありたいと願います。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

オレゴン州 グレシャム / ディック・アディ

1月15日（水）

## あなたの信仰に気づく人がいる

聖書朗読 ダニエル書 3：17～30

異邦人の中にあつて、りっぱにふるまいなさい。そうすれば、彼らは、何かのことであなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのそのりっぱな行いを見て、おとずれの日に神をほめたたえるようになります。 ペテロ I 2：12

このお話はこれまでに聞いたことがあると思いますが、これは決して古いものではありません。悲惨な状況を驚くほど素晴らしい結末に変えることの出来るお方は、唯一、栄光の神様だけです。神様はご自身に従う者たちに日々そのようにしてくださいますが、ときに時間がかかったり、あるいはあまり劇的でなかったりします。けれども結末はいつも必ず素晴らしいものとなります。神様はこれまでも、そして今も、ご自身に忠実な者に同じようにしてくださいます。

あの3人のユダヤ人が信仰によって『神は…私たちを救い出すことができます』『しかし、もしそうでなくても』と言ったのを思い出してください。彼らは決して偶像の神に仕えることはしませんでした。こうした断固たる姿勢は主に仕える私たちに日々求められています。

私たちがこの世に従うことを拒むとき、この世は圧力を強めてくるでしょう。けれども、私たちを悪の道へと引きずり込もうとする人たちこそ自分自身を失うことになるのです。でも、そのような人の中にも、あの王が4人目の人を炎の中に見たように、私たちが主に忠実であるとき、私たちのうちにイエス様を見る人がいるかもしれません。ごく普通の人の、あまり目立つものでなくても忠実な姿勢は、周囲の人を頷かせるのかもしれませんが。あなたは気づいていなくても、あなたのちょっとした振る舞いの中にあなたの神様への忠実な姿勢を見て、それによって動かされた人がいるかもしれません。

讃美歌 215 あしたのひかり

祈り 親愛なる天のお父様、イエス様を私たちの全き模範としてお与えくださっただけでなく、私たちがお手本とする素晴らしいみことばもお与えくださり感謝します。私たちの賛美と感謝をイエス様のお名前によって受け入れてください。アーメン。

テキサス州 マーシャル / キースS・ホッジス

1月16日（木）

## 健全であるための礼拝

聖書朗読 ダニエル書 4章

来たれ。私たちは伏し拝み、ひれ伏そう。私たちを造られた方、主の御前に、ひざまずこう 詩篇 95:6

この世は狂乱の世となり得ます。自己崇拜も含めた偶像崇拜によって、人がいかにして、極めて愚かなこと、信じ難い悪事をするようになるかという例をすぐに思いつくことでしょう。

ネブカデネザルは、物質的な物と自らの功績を崇拜するという、まさに文字通りの狂った状況にありました。彼は将来自分に起こることを夢の中で警告されましたが、それは長くは記憶に留まりませんでした。神様がネブカデネザルに審判を下されたとき、彼は自分の栄誉を褒めたたえているところでした。（ダニエル 4章）

礼拝するとき、私たちは神様によって造られた者であり、神様が私たちの造り主であることを覚えます。そして、神様に思いを集中させて礼拝します。神様に思いを集中させるとき、私たちは神様が私たちのいのちの造り主であることを理解し、神様のなされたことすべてに感謝することができます。讚美歌でも教えられるように、私たちが神様に服従するとき、神様は私たちのうちに正しいところを作り変えてくださいます。礼拝は思慮分別ある健全な者であるために不可欠です。

心から捧げる礼拝で、神様がすべての栄光、ほまれ、賛美を受けるべきお方、愛なるお方であるということを私たちは表します。礼拝することで、私たちは、悪に支配されたこの世の狂気の状況から逃れることができます。

讚美歌 447 いさめやはらから

祈り お父様。私の心を開いて、あなた様を礼拝し、あなた様こそ神であることを覚えさせてください。イエス様の御名によって。アーメン。

ニューメキシコ州 アルバカーキ / スティーブン・スチュアート

1月17日（金）

## 混乱のとき神はどこに

聖書朗読 ゼカリヤ書1:7~17

神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け。 詩篇 46:1

2001年9月11日のあの悲劇を忘れる人はいないでしょう。あっという間に、アメリカの強さ、独創性そして繁栄の象徴であった2本のタワーが崩れ落ち、<sup>くすぶ</sup>燻るがれきの山と化してしまったあの出来事です。ワールド・トレード・センターでは何千人ものいのちが奪われ、ビジネスは崩壊しました。この時こう思った人もいるでしょう。「この混乱のどこに神がおられるのか」

この出来事はニューヨークで起こったことですが、あなたの人生のタワー（金銭的支えや家庭が安定していること、健康であることなど）が崩壊したらどうでしょう。

心が挫けたり、将来に不安を覚えたり、悲劇的な状況あるいは病を経験したりするとき、「神はどこにおられるのか」と思ったことはないでしょうか。

イスラエルの民は、侵略者の軍隊が彼らの国へやって来て横暴な振る舞いをし、彼らの生活を踏みにじっていくたびに、まさにこのような問いをしたことでしょう。打ち砕かれ、叩きのめされ、彼らは「この混乱のどこに神はおられるのか」と思ったに違いありません。

確かに、私たちのこの混乱の歩みのどこに神様はおられるのでしょうか。答えは、神様はいつもそこにおられるということです。神様は、混乱した歩みにおいても、私たちを安心させる慰めのことばを掛けてくださっています。神様はすぐそこにおられ、私たちを気に掛けてくださっています。そのことを忘れずにいましょう。

讚美歌 39 日くれて四方はくらく

祈り 親愛なるお父様。あなた様が私たちの避けどころ、そして、力であることを感謝します。特に困難な歩みのうちに、あなた様にある平安と慰めを得ます。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 アマリロ / ベン・メレネス

1月18日（土）

## 特別な役割

聖書朗読 マタイの福音書 2：13～23

キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分はその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。 エペソ 4：16

イエス様のお誕生のお話で、マリヤがとても重要な役割を果たしたことは知られていますが、ヨセフはどのような役割を果たしたのでしょうか。ヨセフは、彼らに起こった事の原因を理解していませんでした。主の使いは夢の中で、ヨセフが密かにマリヤと別れようとしていたのを思いとどまらせました。神様はヨセフの自己防御の本能をそのご計画の中で用いられたのです。

ヘロデ王がその幼子の命を狙っていたとき（マタイ 2：13～15）、ヨセフの夢にまた主の使いが現れ、幼子の命が狙われているため、エジプトへ逃げるよう促します。ヨセフの守りの本能が動かされ、彼は即座に家族を連れて旅に出ます。

神様にとってヨセフはどうしても必要だったわけではありません。けれども、そのご計画に彼を用いたいと思われたのです。私たちが神様のご栄光のために自らを捧げてそのご計画の一部を担い、そしてそれを喜ぶこと、それは神様のご意志なのです。このように、キリストのからだ全体、教会は『しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられる』（エペソ 4：16）のです。

讃美歌 369 はたらきびとに 主はいませり

祈り 親愛なる主よ。あなた様のお働きに仕える誉を感謝します。私のこの地上での歩みがあなた様の栄光を表すものとなりますように。イエス様によって。アーメン。



テキサス州 スティーブンヴィル / デイヴィッド・ピアデン

1月19日（日）

## 私に従いなさい

聖書朗読 マタイの福音書 4：17～22

私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくたと思っています。それは、私には、キリストを得、また、ピリピ 3：8

ペテロとアンデレは、ゼベダイの子ヤコブとヨハネの助けも得ながら、一晩中漁をしていましたが、日が昇る頃になっても網は空っぽでした。彼らはとても落胆して湖のほとりへ向かいました。舟に乗ろうとしたとき、イエス様はペテロに網をおろすよう言われます。そうしてみたところ、突然網はいっぱいになり、舟は転覆しそうになります。そのときペテロは跪いて、イエス様が救い主であり、自分が罪人であることを告白します。イエス様はこう言われました。『こわがらなくてもよい。これから後、あなたは人間をとるようになるのです。』ペテロとその仲間たちは即座に自分たちの舟を捨ててイエス様に従いました。

この弟子たちは、即座にイエス様に従う急進的な弟子の姿勢を表しています。彼らは自分たちの漁師という生業なりわいを捨ててイエス様に従ったのです。そのとき彼らはその先どのようにして生計を立てていくかも分からず、生活が上向くという保証もなかったのです。

今日、献身的に主に従う弟子として、献金という形で捧げる場合もありますが、弟子であることには、時間や労力を費やす先を変えることも必要であり、また、個人的な関係や仕事あるいは経済的な面で変更を求められることもあるでしょう。すべての人に言えることは、弟子であることはすべてを捧げることだという事です。そして、主にすべてを捧げて生きるということは、自分の生活において優先順位を変えていく必要があるのです。

讃美歌 219 おのが道うちすてて

祈り 親愛なる主なるお父様。物質的な安定にすぎることを止める勇気をお与えください。そしてあなた様に従わせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 サマービル / デイブ・ブランド